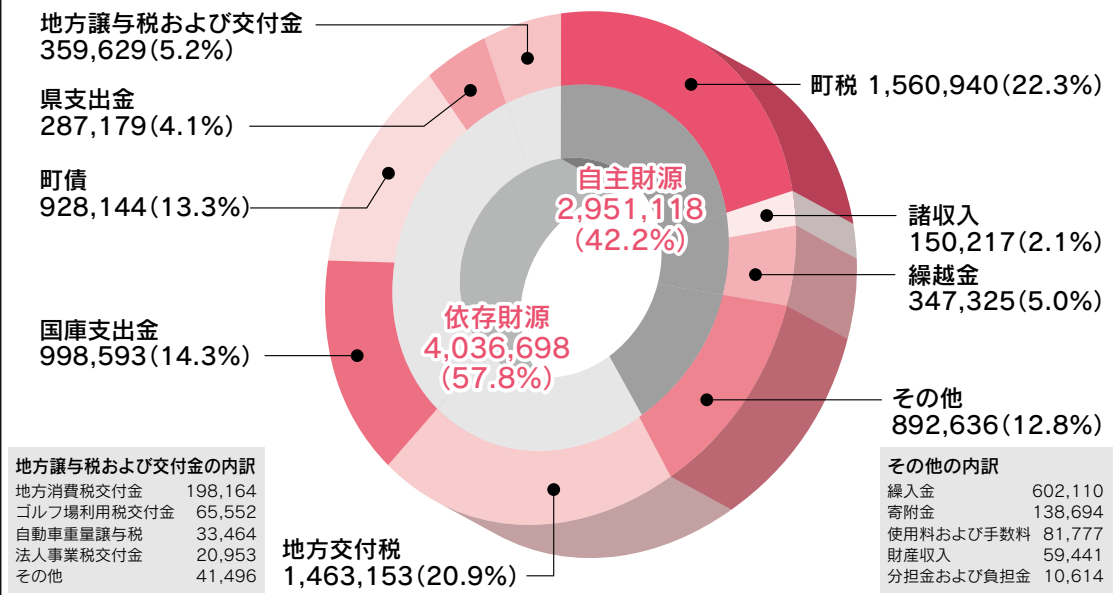


歳入

69億8,781万円

グラフ1 歳入内訳

(単位：千円)

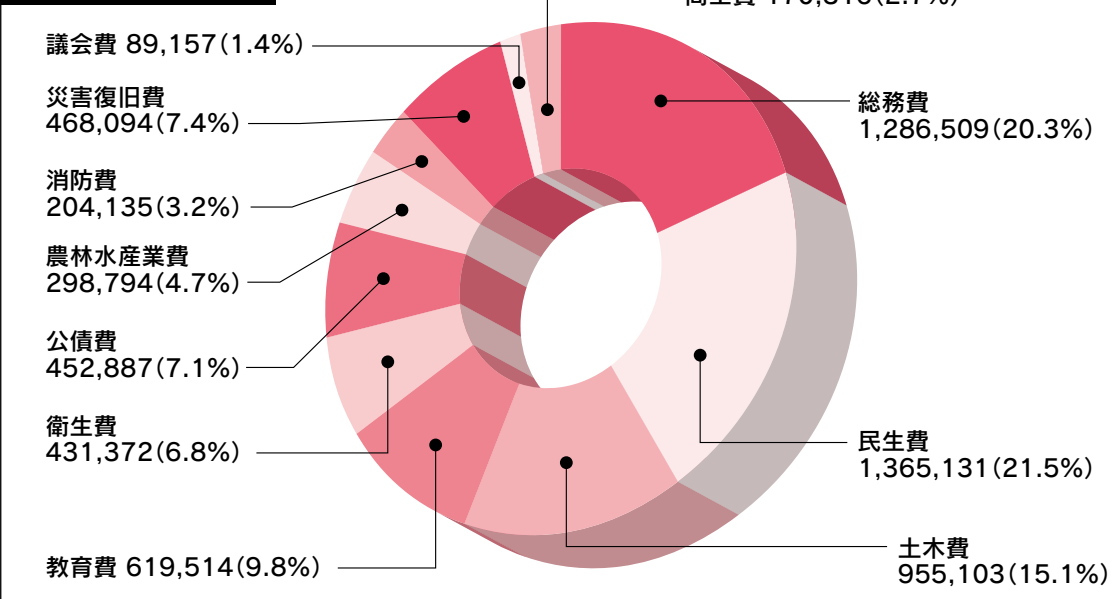


歳出

63億4,101万円

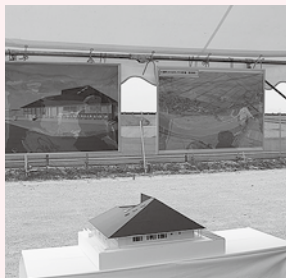
グラフ2 歳出内訳

(単位：千円)



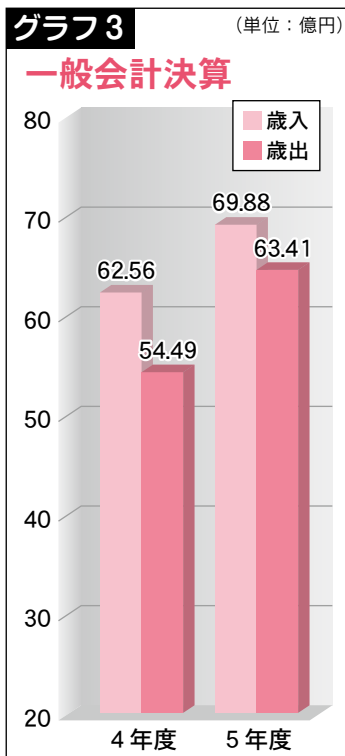
令和5年度の主な事業 (単位：千円)

○災害復旧関係経費	468,095
○復興まちづくり事業	425,323
○黒川地域行政事務組合関係経費	416,905
○価格高騰支援給付金事業	108,482
○生活応援商品券発行事業	104,086
○小・中学校スクールバス委託事業	42,254
○住民バス事業	40,450
○学校給食費助成金	29,217
○B&G海洋センター改修工事	21,890



大郷町の決算概要

令和5年度の一般会計および各種特別会計の決算の概要をお知らせします。



令和5年度一般会計決算概要は、右ページのグラフ1・2のとおりです。

歳入から歳出を差し引いた剰余金は約6億4千7百万円で、そのうち年度内に事業が完了しなかったため翌年度に使うことにしたお金（繰越明許費約1億2千8百万円、事故繰越し約6百万円）と、基金への積立金（4億4千万円）を除いた翌年度への繰越額は、約7千2百万円になりました。

次に、グラフ3をご覧ください。

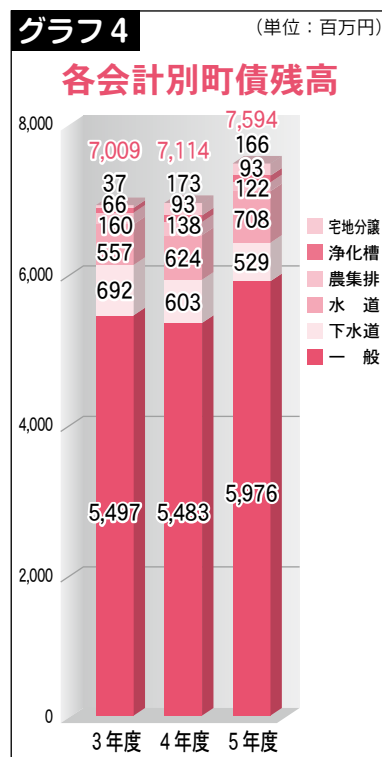
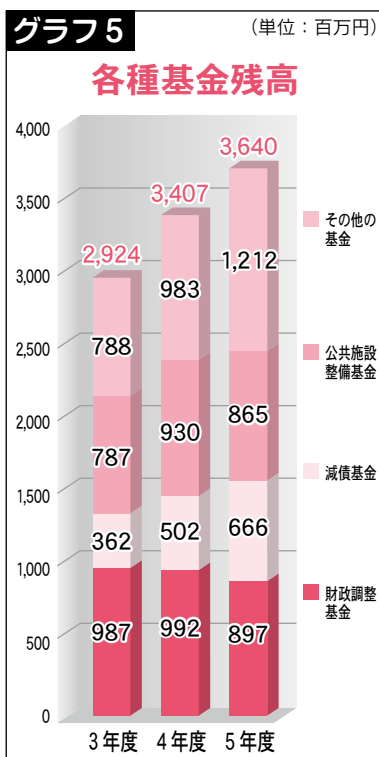
歳出全体では、前年度比で約8億9千2百万円の増となりました。内訳は、災害復旧費で令和4年および令和5年に発生した大雨等による災害復旧工事が完了したこと、約2億6千2百万円の増加と、土木費で柏川地区防災コミュニティ

イセンターの敷地造成や建築設計が完了したことにより、約3億2千6百万円の増額となりました。

歳入全体では、前年度比約7億3千1百万円の増となりました。内訳は、地方交付税が約2億7百万円の減額となったものの、中柏川地区復興まちづくり事業や物価高騰対応重点支援事業に伴い、国庫支出金が約2億5千3百万円の増となり、また、町債では過疎対策事業債が約2億7千6百万円、災害復旧事業債が約2億2千3百万円の増額となりました。

また、諸収入ではボートレースチケットショップ大郷から約2千3百万円、オフト大郷から約1千5百万円が交付されました。

町税収入を令和6年3月末の人口7,381人（外



国人除く）で計算しますと、町民一人当たりでは約21万1千円で、これに対して町が使ったお金は同じく一人当たり約85万9千円になります。

次に町債（町の借金）残高は、グラフ4のとおりです。

過疎対策事業および災害復旧事業に伴う借入等により、一般会計の町債残高は4億9千3百万円増加し、約59億7千6百万円となり、

町民一人当たりでは約80万9千円になりました。

また、基金（町の貯金）残高はグラフ5のとおりです。

各種特別会計等の決算状況は、表1および表2をご覧ください。

今後も財政健全化に向け、努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

表1 各種特別会計決算

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差し引き
国民健康保険特別会計	965,648	954,771	10,877
介護保険特別会計	1,154,050	1,123,104	30,946
後期高齢者医療特別会計	96,306	95,505	801
下水道事業特別会計	249,809	204,601	45,208
農業集落排水事業特別会計	79,096	42,880	36,216
戸別合併処理浄化槽特別会計	83,368	68,804	14,564
宅地分譲事業特別会計	28,498	28,496	2
計	2,656,775	2,518,161	138,614

表2 水道事業会計決算

(単位：千円)

区分	収入	支出	差し引き
収益的収支	253,000	245,804	7,196
資本的収支	154,757	208,603	△ 53,846

収益的収支：水道事業の経営状況

資本的収支：資産および資本の状況

※資本的収入が資本的支出に不足する額53,846千円は、過年度分損益勘定留保資金41,409千円および当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額12,437千円で補てんしました。